

中学部 1 年 生活単元学習指導案

日 時：令和 7 年 10 月 28 日（火）10：30～12：10

場 所：中学部 1 年 1 組教室、1 年 2 組教室

生 徒：男子 7 名、女子 2 名 計 9 名

指導者：櫻田香織 T 1、高田聡美 T 2、
熊谷道大 T 3、武藤美和子 T 4

1 単元名 なまはげメロディーカンパニー ～お客さんを楽しませよう！企画・準備編～

2 生徒と単元

(1) 生徒について

本学年は、本校小学部から入学した生徒が 6 名、他校から入学した生徒が 3 名の学習グループである。主に会話でコミュニケーションをとる生徒が 5 名、簡単な単語や 2 語文でやりとりをする生徒が 2 名、顔みやジェスチャー等で気持ちを表現する生徒が 2 名である。4 月からの学校生活を通し、お互いの好きなことや得意なことが分かってきたことで関係が深まってきた。休み時間には静かに音楽や読書を楽しむ生徒と、友達と話したりカードゲーム等で遊んだりする生徒に分かれている。中には、感情が高まると大きな声を出したり、机を叩いて大きな音を出したりする生徒もいるが、学習を繰り返したり見直しをもったりすると、目の前の学習に落ち着いて取り組むようになってきた。基本的な学習ルールの他に、自分の行動が周りに与える影響や、周囲のことを考えながら行動する方法を学んでいるところである。

(2) 単元について

本単元は「音楽やダンスが好き」「なまはげ太鼓をやりたい」という生徒の興味・関心から始まった。1 学期は、音色を聞いて楽器を当てるクイズを作って出し合ったり、身近な音の大きさを騒音計で測定して棒グラフにまとめたりした。また、アトリオンピックニックコンサートに行きプロの演奏を聴いたことで、人を楽しませるパフォーマンスについて考える機会となった。グループの友達と、それぞれの得意なことを合わせて一つの課題に取り組んだり、学習したことをまとめて学部集会で発表したりした経験を通して、「自分の得意なことを進んでやる姿」や、「自分の考えをもととする姿」が増えてきているが、生徒同士で話し合っただけで学習を進める場面はまだ少ない。

本単元では、小学部 5、6 年生の前でパフォーマンスをすることを目標に、自分たちで企画・準備を行う。お客さんを楽しませるためにアンケートを行い、それを基にパフォーマンスを考えたり、自分たちで楽器を作ったりする。次の単元では練習をして、実際にパフォーマンスを行う。小グループでの話し合いや学習場面を多く設定することで、自分の考えをもととしたり、考えたことを友達に伝えたりする姿が期待される。また、好きなことをして楽しむだけでなく、得意なことで相手を楽しませるという目的をもつことで、相手意識をもち、友達の考えを受け入れたり、自分の気持ちを伝えたりしてお互いに折り合いを付けながら活動しようとする気持ちを育てたいと考え、本単元を設定した。

(3) 指導について

○自分の考えをもつために

- ・自分で考える必要性を感じるために、小グループでの話し合いの場面や活動を設定する。
- ・自分の考えや気持ちを表現するために、選択肢やイラスト、発表例等を提示したり、表情やジェスチャー等から気持ちを代弁したりする。
- ・作る楽器を生徒が選びやすいように、生徒にとって身近な楽器を選択肢として提示する。
- ・相手を意識した考えをもてるように、小学部が楽しめる楽器作りのポイントを掲示する。

○考えて行動するために

- ・落ち着いて学習に取り組めるように、グループを固定する。
- ・生徒が主体的に選べるように、いろいろな材料を用意する。
- ・自分のやる事が分かって取り組めるように、グループごとに楽器や担当を固定する。

3 単元の目標（育成を目指す資質・能力）

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> 相手が見やすいように文字の大きさや誤字に気を付けてアンケート用紙を作成する。 相手に合わせた持ちやすさ、鳴らしやすさ、見た目とは何かが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と話し合い、相手に合わせてアンケートの内容を工夫する。 相手に喜んでもらえる楽器になるように、楽器作りのポイントを見ながら工夫して楽器を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで分担をして、自分の役割に最後まで取り組む。 音や音楽に楽しく関わり、相手を楽しませるために、表現しようとする。

4 目標の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 相手が見やすい文字の大きさ、正しい字でアンケートを作成している。 相手に合わせた持ちやすさ、鳴らしやすさ等を考えて発言したり工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と話し合っ、相手に合った質問内容や回答形式を考えている。 楽器作りのポイントを見ながら、工夫する点を考えて楽器を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の流れを覚えて、自分から活動に取り組もうとしている。 お客さんのことを考え、積極的にアイデアを出したり音を鳴らしながら楽器を作ったりしている。

5 指導計画（総時数 23 時間）

時数	主な学習活動	主な目標 <u>資質・能力</u> 【知＝知識及び技能 思＝思考力、判断力、表現力等 学＝学びに向かう力、人間性等】	主な評価規準 <u>観点</u> [方法] 【知＝知識・技能 思＝思考・判断・表現 主＝主体的に学習に取り組む態度】
1	○オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が分かり、期待感をもつ。 <u>学</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が分かり、身近な人にパフォーマンスをすることに期待感をもっている。 <u>主</u>
6	○調査編 <ul style="list-style-type: none"> お客さんを決める アンケート内容を考える アンケートをする 	<ul style="list-style-type: none"> 相手が見やすい文字の大きさ、正しい字でアンケートを作成している。 <u>知</u> 友達と話し合っ、相手に合った質問内容や、回答形式を考える。 <u>思</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 罫線に沿って適切な大きさで文字を書いたり、正しい字で作成したりしている。 <u>知</u> アンケートの相手に合わせてひらがなと漢字を使い分けたり、選択肢にイラストを入れたりしている。 <u>思</u>
6	○企画編 <ul style="list-style-type: none"> アンケートを集計する どんな内容にするか考える 作る楽器を考える 楽器のつくり方を調べる 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの結果を表やグラフにまとめたり、回答の多い少ないを読み取ったりして、どんな楽器をいくつ作るか考える。 <u>知</u>、<u>思</u> 	<ul style="list-style-type: none"> シールを使ってグラフにまとめたり、シールの数を比べて多い少ないを読み取ったりしている。 <u>知</u> アンケートの結果を見て、自分が作りたい楽器や、相手が喜ぶような楽器を選んでいく。 <u>思</u>、<u>主</u>
10 (本時 5・6 /10)	○準備編 <ul style="list-style-type: none"> 楽器を作る 演奏する 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に合わせた持ちやすさ、鳴らしやすさ、見た目等、楽器作りのポイントを参考に、工夫するポイントを考えて楽器を作成している。 <u>知</u>、<u>思</u> 相手を楽しませるために、音や音楽に楽しく関わろうとする。 <u>学</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器作りのポイントが分かって、鳴らしやすさや持ちやすさ等を考えて、使う素材を工夫したり、飾り付けたりしている。 <u>知</u>、<u>思</u> 自分から楽器を手にとって音を鳴らそうとしている。 <u>主</u>

6 本時の計画 (23 時間中の 18・19 時)

(1) 本時の目標

- ・楽器作りのポイントを意識して、小学部の児童に合わせた楽器を友達と一緒に作る。 思 学

(2) 期待する生徒の姿と手立て

氏名 (性別)	実態	期待する生徒(児童)の姿
		手立て
A (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・歌やダンスが好きで、体を動かして楽しむ。 ・簡単な単語でやりたいことや行きたいところなど、自分の意思を伝える。 ・質問の内容が理解できないときは、関係のない好きな単語で回答をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部5、6年生にプレゼントすることが分かり、楽器を作ったり、飾り付けをしたりする。 ・渡す相手が分かるように、小学部5、6年生の顔写真を掲示する。 ・意欲が継続するように、完成したら大いに称賛する。
B (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・なまはげ太鼓が好きである。 ・友達や教師とのやり取りを楽しむ。 ・やりたいことが明確にあり、興味のあることには集中して取り組む。 ・自分の意思に反したことがあると、不満な態度をとったり、乱暴な言動が見られたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師の意見を受け入れたり、自分のアイデアを伝えたりしながら楽器作りをする。 ・友達の意見を否定しないなど、グループで活動する時の約束を事前に確認する。 ・適宜報告する場面を設定し、協力して学習していた場面を大いに称賛する。
C (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな歌や音楽を何度も聴いたり、体を動かしたりする。 ・簡単なジェスチャーや顔つきで自分の意思を伝える。 ・やることが分からないときや、意志に反したことがあるときに、大きな声を出すことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の担当が分かり、落ち着いて学習に取り組む。 ・やることが理解できるように、グループや担当する工程を固定する。 ・興味をもつように、好きな色のシールやペンを準備する。
D (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示を聞いて行動できる。 ・分からないことがあっても自分から友達や教師に質問することはなく、黙って座っていることが多い。 ・言葉でのやり取りはできるが、一人でいることを好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器作りのポイントを見て工夫したり、グループの友達と協力したりして楽器作りをする。 ・友達と協力できるような役割分担を設定する。 ・工夫したところを教師と一緒に整理できるように、問い掛ける。 例)「これは音と形、どちらを工夫したの?」
E (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な身振りや発声で要望を伝える。 ・歌やダンスが好きで、体を大きく動かして楽しむ。 ・やるべきことが分かると、時間いっぱい集中して取り組む。 ・疲れたときや自分の思いが通らないときに、癩癩を起こすことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた手順を守って、時間いっぱい楽器作りに取り組む。 ・安心して学習に取り組めるよう、グループや担当する工程を固定する。 ・時間いっぱい取り組めるように、十分な量の素材を準備する。

F (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な言葉やジェスチャーで教師や友達とのやり取りを楽しむ。 ・歌やダンスが好きで、体を動かして楽しむ。 ・疲れたり意に反したことがあったりすると机に突っ伏すことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部5、6年生にプレゼントすることが分かり、素材を選んで楽器を作ったり、飾り付けをしたりする。 ・渡す相手が分かるように、小学部5、6年生の顔写真を掲示する。 ・意欲が継続するように、出来高表を用意したり、大いに称賛したりする。
G (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・なまはげ太鼓が好き。 ・言葉で友達や教師とのやり取りを楽しむ。 ・友達とのやり取りでは、自分の意見をあまり言わず、周りに流されることがある。 ・分からないことや困ったことがあっても相談せずに、一人で別のことをすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことを自分から相談・質問しながら、楽器作りのポイントを参考に工夫して楽器を作る。 ・楽器作りのポイントの中で工夫できそうなところを問い掛ける。 例「音と形、どちらが工夫できそう？」 ・自分から相談に来た場面で大いに称賛する。
H (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や教師とのやり取りを楽しむ。 ・友達の否定的な言動に引っ張られることがある。 ・やる事が分かると、自分なりに工夫して取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器作りのポイントを見て工夫したり、グループの友達と協力したりして楽器作りをする。 ・アイデアを表現できるように、様々な素材を用意する。 ・集中して学習に取り組めるようにグルーピングを工夫する。
I (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・歌やダンスが好きで、真似して歌ったり踊ったりする。 ・簡単な言葉で、友達や教師とのやり取りを楽しむ。 ・やるべきことが分からないときや手持ち無沙汰なときに、手の皮をむいたりいたずら書きをしたりすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部5、6年生にプレゼントすることが分かり、素材を選んで楽器を作ったり、飾り付けをしたりする。 ・渡す相手が分かるように、小学部5、6年生の顔写真を掲示する。 ・興味を示すように、様々な素材を用意する。

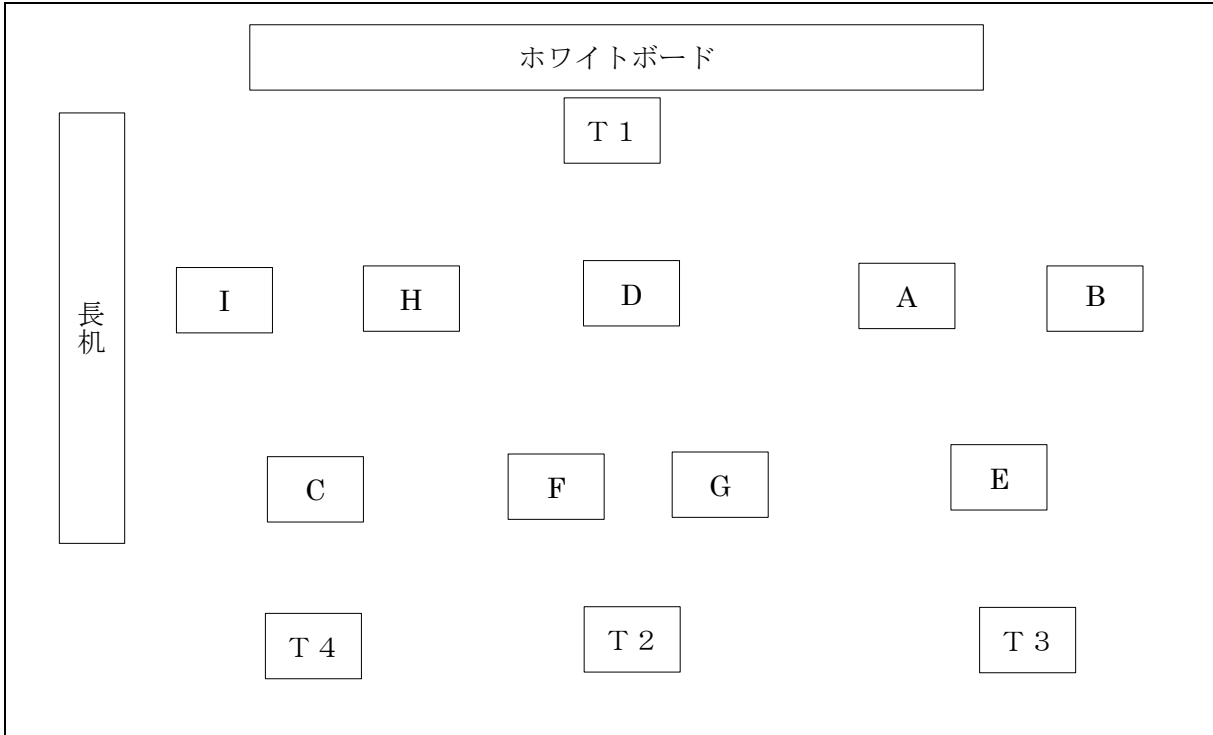
(3) 展開

時間	学習活動	形態	指導の上の留意点、教師の働き掛け
10分	1 前時までの振り返り	個人 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんを意識できるように、小学部5、6年生の顔写真や名前を黒板に掲示し、全体で確認する。 ・本時のやること分かるように、前時までに作った楽器を紹介する。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 本時のめあて：グループで協力して、お客さんを楽しませる楽器を作ろう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんが楽しむための楽器作りのポイントが分かるように、前時に挙げたポイントを提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・音・・・（例：鳴りやすさ、大きさ） ・形・・・（例：持ちやすさ、見た目） </div> <ul style="list-style-type: none"> ・作る数分かるように、表を見て足りない数を数える。
60分	2 楽器作り (1) 楽器作り (2) 飾り付け (3) 演奏 (Aグループ：A、B、E) T 3 (Bグループ：D、F、G) T 2 (Cグループ：C、H、I) T 4 T 1は机間巡視	グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて学習に取り組めるように、グループや活動場所、担当する楽器を固定する。 ・集中して楽器作りに取り組めるように、グループで10分程度休憩の時間を設ける。 ・楽器作りや飾り付けで素材を選んで使えるように、様々な素材を用意して並べる。 ・お客さんを意識した楽器が作れているか、工夫した点を楽器作りのポイントと照らし合わせる場面をグループで設定する。 ・小学部の児童に合わせた音や形に気付けるように、楽器作りのポイント等について問い掛ける。 例)「前回作った楽器と、どこを変えたの？」 「どうしてこの形にしたの？」 「どうしてこの素材を使ったの？」
25分	3 発表 (1)内容を考える (2)発表練習 (3)発表	個人 グループ 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・発表する内容を考えられるように、ワークシートを用意したり、個別に工夫した点を質問したりする。 ・各グループで作った楽器を紹介し合えるように、音楽に合わせて楽器を鳴らして発表する場面を設定する。
5分	4 振り返り	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した楽器の数を数えて、表に記入する。 ・生徒の発言をまとめて使用する。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> まとめ：～を工夫したら、5、6年生に楽しんでもらえる楽器ができた (例)・いろいろな色で飾り付けをした ・持ちやすいように素材を変えた ・大きな音が出るように量を変えた </div>

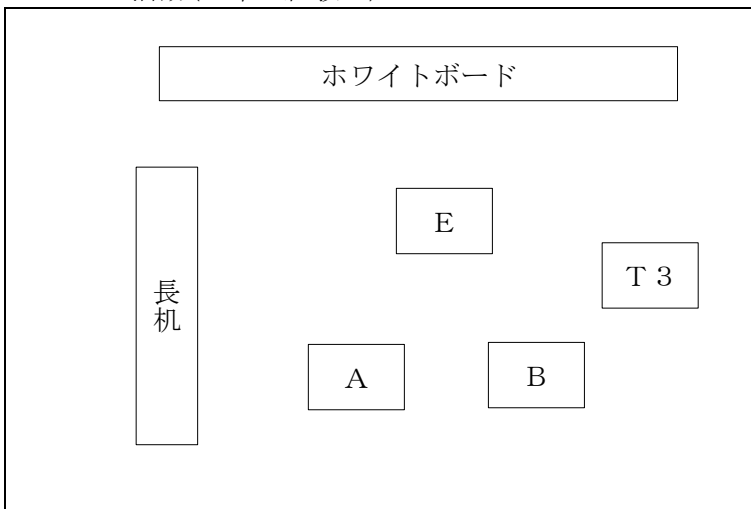
※「自分の考えをもつための手立て」及び「考えて行動するための手立て」はゴシック体で示す。

(4) 配置図

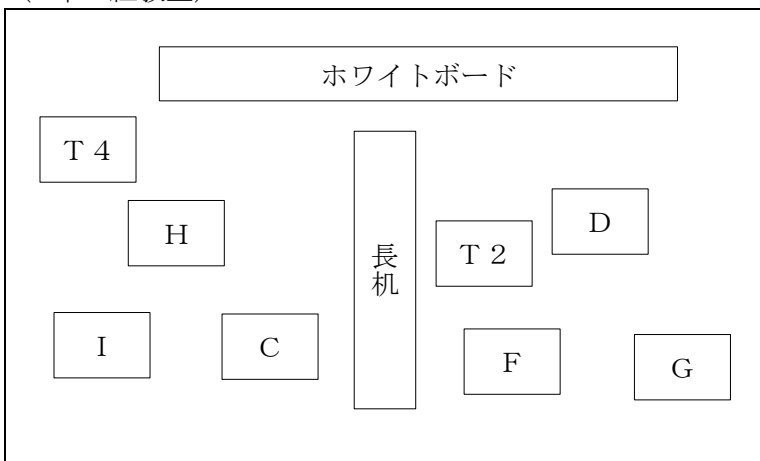
全体（1年2組教室）



グループ活動（1年1組教室）



（1年2組教室）



(5) 準備物

- ・ 小学部 5、6 年生の顔写真、出来高表、楽器作りのポイント、楽器用素材、飾り用素材、ワークシート、iPad、モニター

(6) 評価規準

- グループの友達とやり取りをしたり、楽器作りのポイントを参考にしたりして、工夫しながら楽器を作っている。
〔活動中の姿、発言、振り返りで評価〕